

6/21^日
2026

開場 13:00
開演 13:30~16:30

長良川国際会議場／国際会議室

入場無料／予約不要 (定員:100名)
資料代500円

主催:よみがえれ長良川実行委員会

▼基調講演

『伊勢・三河湾の貧栄養化問題』
鈴木 輝明さん (名城大学特任教授)

▼報告1

『いま伊勢湾の海苔養殖漁は』
納谷 沙織さん (愛知県漁連海苔養殖漁の課題解決支援業者)

▼報告2

『河口堰閉鎖30年 いま汽水域の生き物は』
千藤 克彦さん (元長良川下流域生物相調査団)

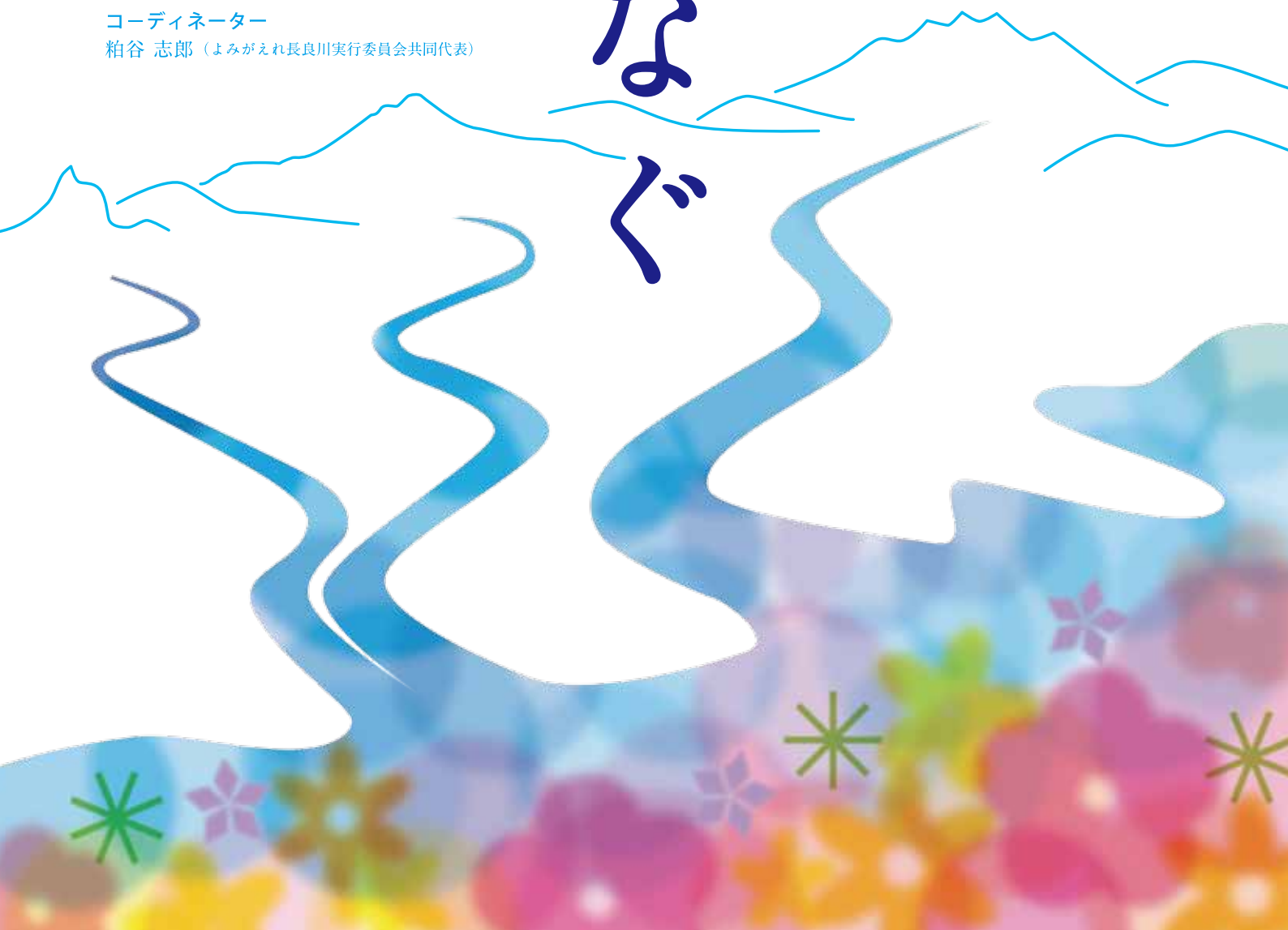
コーディネーター

粕谷 志郎 (よみがえれ長良川実行委員会共同代表)

シンポジウム

川と海をつなぐ

長良川河口堰運用30年を迎えた昨年、私たちがよみがえれ長良川実行委員会は、河口堰建設にかかわった人、長良川の環境を研究・調査する人、長良川の環境改善を目指し活動する人など様々な立場の人が集う多くのイベントに取り組みました。今年、「流域」や「水循環」をキーワードに、さらに対話の輪を広げたいと思い、「川と海をつなぐ」をテーマにシンポジウムを開催します。長良川を愛するみなさま、ぜひご参加ください。



出演者紹介



鈴木 輝明(すずき てるあき)

名城大学大学院総合学術研究科
特任教授 農学博士

名古屋生まれ
1972年:京都大学農学部水産学科卒業
1974年:東北大学大学院農学研究科漁撈学専攻修士課程修了
2002年:愛知県水産試験場漁場環境研究部長
名城大学大学院総合学術研究科特任教授兼務(現在に至る)
2007年:愛知県水産試験場長
国土交通省中部地方整備局伊勢湾再生海域検討会、同三河湾部会、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会、矢作川流域圏懇談会の委員等を務める。
著書に「水産の21世紀 海から拓く食料自給」(分担執筆 京都大学学術出版会/2010)、「環境配慮・地域特性を生かした干潟造成法」(分担執筆 恒星社厚生閣/2007)など



千藤 克彦(せんだう かつひこ)

元長良川下流域生物調査団

学生時代より河川の水生生物の調査・研究を続けている。
大学卒業後、岐阜県内の小中学校教員として赴任。
1992年~1999年:岐阜県文化財保護センターで埋蔵文化財発掘調査担当
2004年~2010年:岐阜県博物館自然部門学芸員
定年退職後、現在は 岐阜県博物館学芸業務専門職。
長良川下流生物相調査団に、結成当初(1990年)から参加。日本陸水学会会員。岐阜県自然観察指導員連絡会事務局も務める。



納谷 沙織(なや さおり)

株式会社ウミト・プラス 代表取締役

愛知県を拠点に、鬼崎漁協と連携し海苔養殖の課題解決に取り組む。カモによる食害対策やリンなど栄養塩の水質調査を実施。愛知クロステックDX推進事業に採択され、鬼崎漁協での実証実験を行う。長良川河口堰に関する調査にも参加し、河川環境と海苔養殖の関係を現場の視点から見ている。



粕谷 志郎(かさや しろ)

よみがえれ長良川実行委員会共同代表

1949年:岐阜県生まれ
1973~2014年:岐阜大学(医学部、地域科学部)教員
ツツガムシ病の疫学、病原体の研究、長良川のユスリカの生息調査、環境ホルモンの調査・基礎研究などを手がけてきた。
現在、よみがえれ長良川実行委員会共同代表を務める。



長良川国際会議場〈交通アクセス〉

▼岐阜バス

JR岐阜駅前、名鉄岐阜駅前から乗車できます(約20分)

- ①「茜部福光線K50・K61」で「長良川国際会議場前」下車(徒歩1分)
※JR岐阜駅前10番乗場より
- ②「市内ループ線」で「長良川国際会議場北口」下車(徒歩3分)
- ③「岐南町線」で「長良川国際会議場北口」下車(徒歩3分)
※JR岐阜駅前11番乗場、名鉄岐阜駅前4番乗場より

▼駐車場

都ホテル共同地下駐車場(189台/有料)
岐阜メモリアルセンター南駐車場(269台/有料)
長良ヶ丘駐車場(20台/無料)

主催:
よみがえれ長良川実行委員会
(連絡先) 武藤 090-1284-1298

